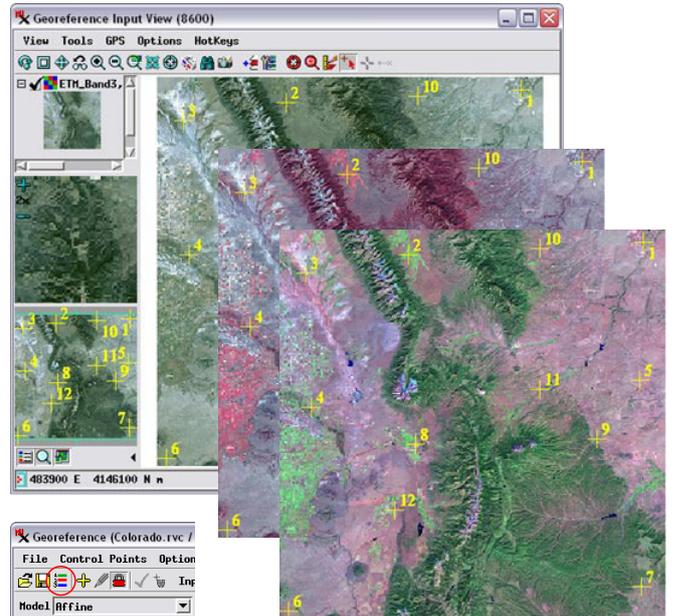


# マルチバンド / 多重解像度画像

TNTmips のジオリファレンス処理では異なる空間解像度を持ったバンドやバンドセットを含めて、マルチバンド画像用の便利で使いやすいジオリファレンスインターフェースが提供されています。同じ画像サイズを持った画像バンド群を同時にジオリファレンスすることができます。その後、そのジオリファレンス情報を別のサイズと解像度を持った他の画像バンドへ転送することもできます。

## 単一バンドまたは RGB 合成表示

同時ジオリファレンス処理を行う縦横サイズが同じ画像のバンド群を選択できます。バンドを選択した後、〈ジオリファレンス入力 (Georeference Input)〉画面に表示するための1バンドもしくはRGB合成用3バンド(3バンド以上が選択された場合)を選択するようプロンプトが出ます。表示するバンドやバンドの組み合わせは〈ジオリファレンス〉ウィンドウにある [画像バンドの組み合わせ (Image Band Combination)] アイコンを使っていつでも変更できます。ジオリファレンス情報を保存すると、その情報は選択した画像バンド全てに自動的に保存されます。

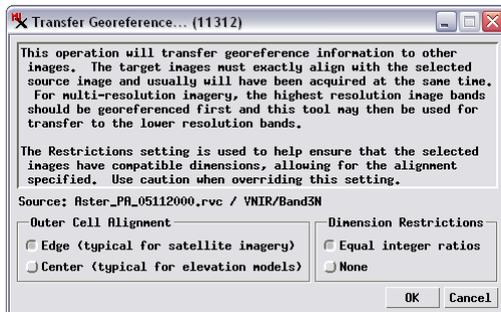


ジオリファレンスする画像の複数バンドを選択すると、〈表示バンド (Display Bands)〉ウィンドウが出て、〈ジオリファレンス入力〉の表示ウィンドウに表示するバンド1つまたはRGB合成の3バンドを指定できます(左上図)。参照画像は〈ジオリファレンス〉ウィンドウの [画像バンドの組み合わせ] アイコンを押していつでも変更できます。

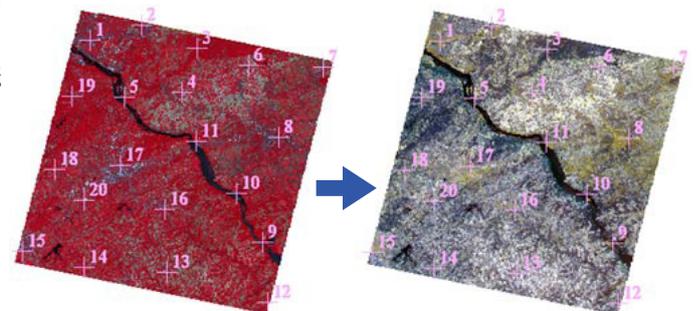
上図は異なる特徴を強調するために使われる数種類のRGB合成バンドです。ランドサット7号の画像をジオリファレンスしています。バンド3-2-1(トゥルーカラー、奥の入力画面)、バンド4-3-2(フォールスカラー赤外線、中央)、バンド7-4-2(赤外グリーン、手前)。

## ジオリファレンス情報を低解像度バンドへ転送する

[ジオリファレンスの転送 (Transfer Georeference)] 処理では異なる空間解像度の画像バンド間でジオリファレンス情報を転送できます。通常、最初に最高解像度の画像(1つまたは複数)バンドをジオリファレンスし、それから低解像度のバンドへ転送します。転送元のソース画像と転送先のターゲット画像の方向はぴったり一致していないといけません。たいていソースとターゲットのバンドの横のサイズと縦のサイズは異なっていても同じ比率のままです(例えば、2対1の縮小サイズ)。ターゲットのバンドの指定用フィルタとして固定整数値比率を指定するオプションをセットできます。

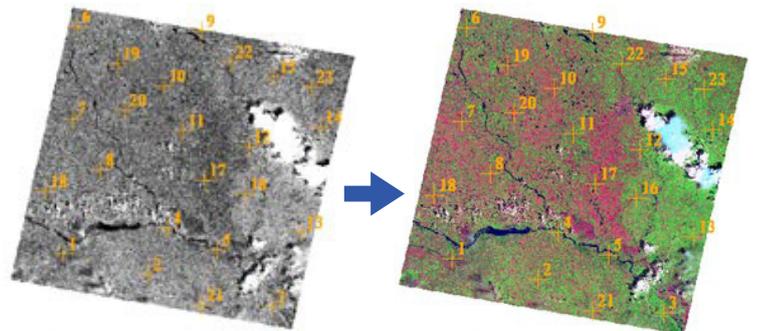


〈ジオリファレンス〉ウィンドウの [ファイル (File)] メニューから [ジオリファレンスの転送 (Transfer Georeference)] オプションを選択すると、プロンプトが出るのでジオリファレンス情報のソース画像を指定し、それからその転送先のバンドを指定します。右図では、アスターの可視近赤外バンドからジオリファレンス情報を対応する短波長赤外バンドセットへ転送しています。また、ランドサット7号のパンクロマティックバンドからマルチスペクトルTMバンドへ転送しています。



アスター 可視近赤外域 (分解能 15m)

アスター 短波長赤外域 (分解能 30m)



ランドサット7号 バンド8 パンクロマティック (分解能 15m)

ランドサット7号 マルチスペクトル (分解能 30m)